

各位

会社名 タカラバイオ株式会社
(コード番号 4974 東証 1部)
本社所在地 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者 代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先 執行役員事業管理本部長 掛見 卓也
TEL (077) 565-6970
URL <https://www.takara-bio.co.jp>

「腫瘍溶解性ウイルス HF10」および「CD19・CAR 遺伝子治療薬」に関する 大塚製薬株式会社との共同開発・独占販売契約の終了について

タカラバイオ株式会社は、大塚製薬株式会社との「腫瘍溶解性ウイルス HF10^{注1}開発及び販売に関する契約」(2016年12月15日締結)および「CD19・CAR 遺伝子治療薬^{注2}共同開発及び販売に関する契約」(2018年4月9日締結)の両契約(以下、本契約)を終了することを本日付で同社と合意しました。

なお、NY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬^{注3}(2018年4月9日に共同開発・販売契約締結)に関しては、引き続き両社で開発を進めてまいります。

(注1) 契約時の名称、一般名 canerpaturev(略称 C-REV)、開発コード TBI-1401

(注2) 開発コード TBI-1501

(注3) 開発コード TBI-1301

記

1. 本契約終了の理由

腫瘍溶解性ウイルス HF10

膵臓癌を対象とした第 I 相臨床試験結果をふまえ、膵臓癌および他の癌種での開発計画を両社で検討してまいりましたが、今後の開発に要する期間等を考慮し、契約を終了するとの判断に至りました。

CD19・CAR 遺伝子治療薬

成人急性リンパ芽球性白血病を対象とした第 I/II 相試験を実施してまいりましたが、治験期間の長期化や競合品の承認などの状況などをふまえ、この度、契約を終了することとなりました。

2. 本契約終了の内容等

本契約終了にともない当社が大塚製薬に許諾した腫瘍溶解性ウイルス HF10 および CD19・CAR 遺伝子治療薬に関する、技術・知財・その他の権利は、当社に返還されません。また、今後、本契約に基づくマイルストーン達成時の一時金の受領、治験製品販売の売上金は発生しません。

3. 本契約解消の相手先の概要

(1) 名称	大塚製薬株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区神田司町2-9		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 井上 眞		
(4) 事業内容	医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品等の製造、製造販売、販売、輸出ならびに輸入		
(5) 資本金	200 億円		
(6) 設立年月日	1964 年8月 10 日		
(7) 大株主および持株比率	大塚ホールディングス株式会社(100%)		
(8) 上場会社との当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき当該事項はありません。	
	人的関係	記載すべき当該事項はありません。	
	取引関係	記載すべき当該事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	記載すべき当該事項はありません。	
(9) 当該会社の親会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態(注)	(百万円)		
決算期	2018 年 12 月期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期
資本合計	1,732,266	1,795,440	1,883,432
資産合計	2,477,363	2,581,309	2,627,807
1株当たり親会社所有者 帰属持分(円)	3,145.71	3,257.17	3,415.54
売上収益	1,291,981	1,396,240	1,422,826
営業利益	108,304	176,585	198,582
親会社の所有者に帰属 する当期純利益	82,492	127,151	148,137
基本的1株当たり当期利 益(円)	152.24	234.55	273.15
1株当たり配当金(円)	100.00	100.00	100.00

(注) 大塚製薬株式会社は大塚ホールディングス株式会社の完全子会社です。大塚製薬株式会社の経営成績および財政状態は非公開情報ですので、親会社である大塚ホールディングス株式会社(IFRS 適用会社)に関する情報を記載しております。

4. 日程

取締役会決議、契約解約日 2021年11月9日

5. 今後の見通し

本契約解消による当社の2022年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

<参考資料>

1. 当期連結業績予想(2021年11月9日公表)および前期連結実績

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2022年3月期)	59,300	20,000	20,200	14,100
前期連結実績 (2021年3月期)	46,086	13,952	14,159	9,547

以上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。